

あいちの印刷

4

2025.4
No.641



伊勢神宮内宮にて（三重県伊勢市）

もくじ

- 巻頭言「新年度スタートに向けて
～意識を持ち行動に移す大切さ～」…………… 3
- 愛印工組＜座談会＞
愛印工組執行部1年を振り返る…………… 4
- 中部地区印刷協議会＜令和6年度下期会議＞
富山・石川・三重・岐阜・愛知の各県工組役員が出席…………… 8
- PICKUP NEWS……………11
- 中小企業庁「中小企業省力化投資補助金」……………11
- グリーン購入法「印刷役務」の判断基準を改正……………11
- 全国出版協会「2024年出版市場」……………11
- 日本製紙連合会
2025年 紙・板紙（主要品種）内需見通し……………12
- 愛印工組・2月期理事会
創立70周年のテーマ「Resilience」……………13
- 愛知県印刷工業組合
第15回ポスターグランプリ「入賞・入選作品集」刊行……………14
- お知らせ……………14
- 編集だより……………14

人に 社会に 想いを カタチに

愛知県印刷工業組合

本紙は再生紙を使用しています。

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フイルムは提案します——成長は、「省資源」から。
材料・工数・水・エネルギー・排出、
これまでの「コスト」を減らし利益に還元。
製版・印刷工程を軸にした、
独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が
あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

「減らす」がつくる、クオリティ **FUJIFILM SUPERIA**

富士フイルムグラフィックソリューションズ株式会社

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来



印刷会社のSDGs達成のためのソリューションを提案、具現化するRMGT-CSPI。
各分野の企業が連携し、お客さまに寄り添いながら課題を解決・サポートします。

RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性能が更に進化。ナイフと
バックゲージの速度が向上し、クラン
プ上昇安全機能を搭載。AIとの連携
(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

SC
100Z 115Z
137Z
SERIES SCシリーズ断裁機

Safety Speedy Smart



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z



CIP4
Number
CIP4に対応
(オプション)

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>
e-mail info@itotec.co.jp



本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495
[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

巻頭言

「新年度スタートに向けて ～意識を持ち行動に移す大切さ～」

副理事長 箕浦 靖夫

本年度より労務・新人教育委員会の担当副理事長を仰せつかりました箕浦でございます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、春爛漫、4月からの新年度が始まり心機一転、仕事における心構えや目標を立てるタイミングに入っております。

これを機に、さまざまな立場や状況を踏まえ、職場の環境や仕事の内容は変わらない中でも、年度が変わり新鮮な気持ちでスタートを切れるよう、効率化とミスの削減について考えてみました。

例えば、上司が課員に対し指導するときには、当然そんなことは「知っているだろう」「当たり前だろう」「できるだろう」という思い込みで指導していることは多くないでしょうか。

弊社でも思い当たる事があり、何かいい策がないかと検索したところ、「知っているとできているは別」というコンテンツを見つけました。

そこに記載されていましたが、以下のようなことでした。

1. 知っているとできているは別

水泳の泳ぎ方の知識があっても、実際に泳げないこともあります。このように知っているとできることは全くの別物です。

2. 頭でわかっているのと実際にできることは違う

今の時代はインターネットの発達によって、誰でも簡単に情報収集ができます。かつては一部の人しか知らなかった知識も、インターネットで検索すればすぐに情報を得ることができます。しかし知識や情報を理解しても、実際にできるかどうかは別の話です。

まずはそのことを自分自身で理解する必要があります。知識を身につけたことで満足せず、それを行動に移すことを意識しましょう。

3. 知識は実践してはじめて身につく

一般的な学習モデルである「ラーニングピラミッド」によると、講義を受けたときの知識保有率はわずか5%でしかないとされています。そしてそれを実践に移すことで、知識保有率は75%にまで上昇します。知識は実践してはじめて身につくということです。

弊社でもリサーチしてみると、実際に課員は『聞いただけでまったく理解していなかった』ことや上司としては『一回教えたからできているだろう』と思い、実際に行動に移すまで確認していなかったケースがあることが浮き彫りになりました。

つまり、上司は教えたつもり、課員からすると教えてもらい知識を得てわかったつもりになっていただけで、上司、課員ともに「できているつもり」になっていただけという問題点に気づきました。

更に、一番大切な「実行に移す」の段階まで行っておらず、知っているだろう、わかっているだろう、できているだろうという前段階で終わってしまっていたことが、お互いの理解がかみ合わず非効率になり、ミスの根源になっていたことも顧みてわかり、改善すべきであると強く感じました。

新年度からしっかり効果を出すために、まずはこのことを上司と課員がお互いに理解を深め、「実行に移す」チェック体制を取りながら向上し、更なる効率化やミスの削減を図れるよう意識を持って取り組んでまいりたいと思います。

 **KONICA MINOLTA**

Giving Shape to Ideas

お客様の可能性を引き出す印刷現場での
働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」
シンプルな印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミノルタ ジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624



共に印刷の未来を創る
つながるプリントラボ
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



愛印工組執行部1年を振り返る

「価値協創」で各種事業に積極的な取り組み 第2回ワクワクぷりんと博覧会への期待

2024年は、コロナ感染症が5類になってから1年数カ月が過ぎ、マスクなしで人混みの中を行きかう人々も多く見受けられるようになり、通常の社会活動が戻ってきたように見える。しかし、印刷業界においては、急激なデジタル化に加え、昨年からの各種資材の高騰、郵便料金の値上げ、物流の問題、人手不足などが企業活動に大きな影を落としている。そうした中2025年が幕開けした。愛知県印刷工業組合では、鳥原久資理事長に代わり酒井良輔理事長が誕生し、間もなく1年を迎えようとしている。その間、組合員企業の明日への成長を目指し、たゆまない情報提供のもと事業活動が活発に行なわれてきた。酒井理事長をはじめ執行部の方々にお集まりいただき、今後の組合運営についてお話を伺った。

厳しい状況下での印刷需要

本誌 昨年の印刷需要はいかがでしたかー。

酒井 飲食店などは相当紙離れしている。外食に行ってもメニューはなくタブレットから注文する。本当に紙はデジタルデバイスに変わっていくので、そこをどのように印刷会社が担っていくのか。今、紙があるからといっても永遠に続くと思わない。コロナの間は集客しにくいので紙の集客物は止めるのは分かったが、完全にデジタルに置き換わる物は置き換わってきている。この紙の仕事がどうデジタルに変わるのかを模索し始めた年である。

田中 いろいろなものが値上がりし、中部地域の折り込み広告はずいぶん減った。費用対効果考えた時、折り込み代が上がっただけの効果があるか、というので止める会社も多くなっている。コロナが明けてからは、簡単な印刷物はネッ



メディアージュ愛知会議室で開催された座談会

【出席者】()内は担当委員会 ー敬称略ー

- 酒井良輔理事長：知多印刷㈱
- 田中賢二副理事長(組織・共済委員会)：神田印刷工業㈱
- 箕浦靖夫副理事長(労務・新人教育委員会)：名鉄局印刷㈱
- 竹倉幹雄副理事長(CSR・ブランディング委員会)：半田中央印刷㈱
- 加藤義章副理事長(教育委員会)：㈱フジカ
- 河原善高専務理事(愛知県印刷工業組合)

※渡辺達也副理事長(経営革新委員会)：㈱メイセイブ
プリントは、体調不良で欠席。

ト通販といった時代になった。通販で来る仕事は営業が経費をかけて行かなくても良いといっている。

箕浦 市場が減っているにも関わらず、用紙代をはじめ資材が大きく高騰している。また発送代、郵便料金、折り込み料金の値上げなどもあるので、厳しい状況になってくると社内では話している。紙の優位性があるもの以外は全てデジタルに変わってくると強く感じている。その時の懸念としては、今まで紙があるからの前提で前工程の値段を決めていたが、今後、前工程だけの仕事にどう採算を当てていくか、また、データの構築、システム、セキュリティ、データの管理などにも応えていかなければならないと思っている。

竹倉 紙の仕入れでは10%位減っている。原因は分析中であるが減っていく傾向は間違いない。今までは、あるクライアントが減っても他のクライアントが伸びて、急な落ち込みはなかったが、今はいろいろなクライアントの案件が少しずつ減って「茹で蛙」になりやすいと感じている。また、郵便料金の値上げについては、年度が変わる4月以降から影響が出てくると思っている。

加藤 原価が上がりいろいろなものを見直そうという状況の中で、郵便料金の値上げでさらに加速した。年始では、印刷用紙は10%位減少するといわれたが、最終的には前半で10~15%減になっている。紙離れ、デジタルへの置き換え、販促の見直しとか、コロナ以降大きく進んだと紙の出荷分を見て感じている。反面、印刷通販の業績が伸びている。これから何処へ向かっていくのか。販促物を追いかけて逆風の中で漕いでも前には進めない。別の方向に取り組んでいかなければ苦しくなる。収益面では、原価の高騰が昨年、一昨年は言わ



酒井良輔理事長



田中賢二副理事長



箕浦靖夫副理事長

れたが、今年はそうしたイベント的なことが薄れ、毎月のように細かいものが上がっており、価格に反映できないのでさらに苦戦をしている。

伸びている業務委託契約

本誌 価格だけで決まる仕事はまだありますか。また、価格に左右されない取り組みなどお聞かせください。

加藤 販促物はまだ価格ありきの部分が多い。そうしたものは無理してやっても、営業経費が賄えないという部分がある。そこまで厳しくないのがパッケージに付随する分野とか、包装紙の関連の物で、かなり積極的に受注していくことを考えているのが実情である。新しいビジネスソリューションにはまだ取り組めていないが、別の分野に力を入れなくてはならないのが正直なところである。

竹倉 いろいろな所で価格がオープンになって、お客様が値段を分かっている、価格だけで決まるケースは減っている。お客様に価値を感じてもらうことが、成果に繋がる。それがだめならすぐに他社に切り替わってしまうのが現状と思っている。価値構築では、業務の委託契約の仕事が少し出てきている。例えば、販促のサポートであったり、ECの運営であったり、業務委託の中でおこなっている。

酒井 我が社も業務委託契約の比率が伸びてきている。例えば、グーグルビジネスフォームであったり、LPを使った集客であったり、この辺りの仕事は毎月委託になっている。やはり価格決定権の話では、お客様が値ごろ感を持っていて、このぐらいで出来ないかという相談がある。例えば、展示会ブース等も自前でやってしまう。でも自前では大変なので、材料費プラスアルファでやってくれないかという話である。また、お客様と消費者との接点が必要なので小さなマルシェに出展したりしている。その中で印刷会社は何を手伝うことができるか、地域との関わりがより深くなるという事を求められている。

コロナで人の動きが制限されていたが、今皆さん新たな行動を起こしている。そうすると新しいサービス、新しい商品ができていく。ボリュームは小さくなるが、そこをやっているかないと大量の印刷物があるところに注文を取りに行っても、それはなくなってしまうかもしれない。違う発想を持って行動していかなければいけない。

箕浦 基本的には価格が優先されるお客様も多いことは事

実としてあるが、それだけではなく、全体的な効率面も含めた現場の立場に立った提案も行なっている。例えば、独自の入力技術を使い納期を早めたり、デジタル検版を使用し直しのない頁の保証をしたり、また、システムごと提案することでお客様に代わってシステム会社と打合せをしたり、データのやりとり、保管面を含めた提案をしたりと、お客様の立場に立った提案を行ない、会社として価格以上の付加価値をつけている。

田中 一般の印刷物は付加価値がつけにくい、印刷通販では、納期、品質で若干価値をつけるようにしている。また、営業部をデジタルマーケティング課、包材課など5つの部署に分けている。今はデジタルマーケティング課が伸びている。お客様に費用を使っただいて、それによって人がたくさんきて、儲かり、利益が出たら価格はいただける。包材課はお菓子の中に葉を入れたり、包装紙だったり、ラベルを作って貼ったり、一つの物に付随する印刷物が多少は増えてきた。情報関係の印刷物に関してはどうしても値段に引っ張られるので、包材などの部分で付加価値を付けている。

働きやすい環境の整備

本誌 企業価値を高めるための人材確保・定着での工夫、社員に期待されていることは一。

加藤 人材の確保、定着は本当に頭の痛いところである。賃上げ、働きやすい環境作り、キャリアアップの明示、それらを踏まえながら、できるだけ社員に将来が見える環境を整えている。社員教育が一番大事と思っており、営業では、新しい印刷、加工を含めて、定期的に外部の先生を招いて勉強会を開催している。製造面ではスキルレスであったり、省力化、省人化であったり、自動化から無人化に進み出している、これを構築する現場の知識レベル、ITを含めて、ということが無人化できるかを勉強させ、実装できるものはしている。社員に期待するのは、そうしたマネジメントの教育や、経営を考えることができる人材に育ってほしいし、会社としてはそういうことをサポートしていきたい。

竹倉 部門とか人によって、集中的にやる人と、そうでない人に分かれているが、平均すると社員一人当たり年間で5万円から10万円使っている。経営側の考え方に沿った教育コンテンツ、教育機会をきちっと提案していこうと思っ



竹倉幹雄副理事長



加藤義章副理事長



河原善高専務理事

になるので、その地域での会社の見え方には気を配っている。会社の風土をきちっと造って、それが滲み出るようなことを心がけている。結果的にそういう雰囲気を望む社員が入ってきている。定着については、少なくとも会社や仕事が嫌で辞めることがないように心がけている。また、社員の服装はカジュアルで、名前も役職ではなく、私も含め全てさん付けにしている。

酒井 社員の教育は全社員対象にE-ラーニングに入っ
て、デジタルスキルを上げるように努めている。特に今は生成AIを使えるようにということで、お金を払って使わせているが、これは竹倉さんが先ほどこいわれたように、やる人はやるし、やらない人はやらないので、どれくらい使っているか、使用頻度を一年ぐらい見てから削減したりするのが必要と思っている。業務の中で営業のプレゼンの資料とかはAIを使えといっている。便利なものは使っていけないといけない。

人の採用については、4年ぐらい前から新卒の採用をやめて、中途採用しかしていないが、新卒は毎年一人ぐらい面接にくる。我が社は働く環境にお金を掛けたいと思っており、ハード、ソフトにお金を使っている。これからは組織で働いてできる仕事と、個人でできる仕事が出てくるので、会社でやる必要のある仕事は会社でやり、個人でできるものは個人でできるように、その都度プロジェクトチームを作って、打ち合わせなどを行なっている。

箕浦 人材の確保の方はなかなかできない。以前より派遣会社をお願いすることは多いが、派遣社員は決まった仕事しかやらせられないので使い勝手は良くない。事業を進める時には、プロジェクト制をひいている。今年は30歳以下を集めて、経営発表会とか、イベントやバス旅行の立案をさせて、横のつながりを作らせている。

管理職の勉強会にはコンサルタントを入れ、また、女性社員が半数近くいるので、女性リーダーを養成していかなければいけないと思っている。少数精鋭、多能工化、女性活躍がキーワードになってくる。それに対してコンサルタントの力をお借りしていこうと思っている。

田中 今までは毎年、営業に2～3人入れていたが、今年からは良いと思った人を1人～2人入れるように切り替えた。当社も女性が3割近くになってきたので、今働いている人たちが安定的に勤めて、安定的な生活ができる、そうした会社にしていかなければいけないと考えている。

ワクワクぷりんと博覧会10月開催

本誌 クリエイターとコラボレーションした「ワクワクぷりんと博覧会」が開催されましたが、業界あるいは甚の評判や外部との協業はどうでしたかー。

加藤 当社は参加していませんでしたが、会場に出向きいろいろな成果物を拝見し、印刷会社とクリエイターとのコラボの実現は、ポスターグランプリとは別の形で非常に有意義な試みであったと思った。これから回を重ねていくには、こういった形で行なっていくのがいいのかが課題になると思う。当社も機会があれば参加したい。

竹倉 仕事の受発注の枠を超えての協業は、どちらかというと我が社は苦手という感じで、これといった物が出来ていない。今行なっているのは、全然ビジネスになっていないので、事例としてはそぐわないかもしれないが、地域で他社と組んでクラウドファンディング事業を5年ぐらい行なっている。また、商工会議所を巻き込んで地域一体型のオープンファクトリーを行なっているが、両方とも自走したビジネスにはなっていない。

酒井 特定の社員がコラボレーションしているいろいろなことを行なっているが、作ったものは売れているので損はしていないと思う。今回のワクワクぷりんと博覧会にも出展したが、今の流れはクリエイターと紙の製品を作ることである。1回目のメンバーに新人をいれたが「社長、俺、紙をやりたくない」との意見があった。エントリーして、成果物も作るが、これはどうしたものかという気がしている。

外部との協業では、お客様のやりたいことを聞き出して形にして、販売サイトを提供したり、お客様がどこかに出店したら、それも手伝う、広告も手伝うということを行なって、サブスクみたいな形で毎月契約してくれませんか、みたいなスモールビジネスを積み重ねてやっているの、売り上げはでていないが、やっている社員は楽しそうである。

箕浦 今回のワクワクぷりんと博覧会では、漢字日めくり練習帳を作成した。今後、それ自体を商品として売なのか、販促品として使用していいのか、明確な目的をもっていく必要がある。たしかに、今回の取り組みは、今までやったことがなかったの、社内も盛り上がったし、直接出品して、いくつか売れたこともあり、一時は活性化した。社内活性や社内研修にはなるが、時間とお金がかかるので、会社としては、それに

見合った価値を見出せるかが、継続していく上では必要と感じている。

田中 我が社も包材でドリップコーヒーやお名前シールを出品した。一番よかったのは、女性社員がお客様と接することが楽しかったとっていたことで、商売的には疑問である。先日のメッセナゴヤにも出展したが、興味のある来場者のところに営業に回るなど商売になりやすい。愛知県印刷工業組合としてメッセナゴヤなどにブースを出して、出したい会社がいろいろ持ち寄り、興味のあるお客様に営業するほうが商売になりやすい。

創立70周年記念式典開催

本誌 組合員企業の価値を高めていくために、どのような事業運営を目指して行くべきですか。

加藤 教育委員会担当なので、印刷技能検定を実施してみ、受検者が減ってきているというのが率直な感想である。人の問題は各社大変と思う反面、ここ数年女性の受検者が増え、各社女性が活躍を担っている。そういう方が働く意欲が湧くような情報発信も必要と思っている。

技能検定の資格を取得している会社に対しての入札などを含めて、国家資格としてのインセンティブ的なものが有ったほうが業界としても良いし、それぞれの企業が資格を持っている方がいることによって、企業価値が上がっていく。試験だけではなくプラスアルファの価値を提供できればと思う。

竹倉 初めて開催したワクワクぷりんと博事業は、印刷企業、参加クリエイター、そして来場者にも概ね好評であった。今年も第2回を10月18、19の両日、名古屋市千種区の星が丘テラスで開催するが、目的は変わることがなく、自分たちで価値を作り出して市場に問うという考え方を組合員企業が持つきっかけにする。また近い業界でありながら一緒に仕事をする機会が少なかった東海地方のクリエイターと関係づくりにも役立てたい。

ただ、先程いわれたように課題も非常に多いと思っている。負担と成果が見合わないというのが参加企業の意見だと思う。また参加企業がどういう目的で取り組んでいたか、参加企業に目的を作ってもらうことが非常に重要と思っている。物ができたら価値をどう伝えていくか。組合員企業がそういう考え方ができて、違う売り方ができないと、先々大きな広がりのある事業にはならない。そこが課題である。

箕浦 厳しい環境を乗り越えていくには、情報がなければ選択肢がなくなる。労務・新人教育委員会では研修事業、教育事業、労務に関する情報発信などを行なっているので、情報を取得して事業展開に繋げていただきたい。委員会に参加すれば、情報もいち早く取得できるし、実例を直接聞くこともできるので、委員会に入って活動して欲しい。

田中 最近のテレビで、紙は環境に良いというコマーシャルがある一方で、デジタル化イコールペーパーレスというコマーシャルも多い。しかし、デジタル化はペーパーレスではない。紙は環境に良いということを業界として発信していかなければならない。

本誌 今回のホスターグランプリの状況は一。

河原 「いいかげん」をテーマにした今回のグランプリには、370点の応募があった。昨年より少なかったが、ここ数年は毎年増え続けており、昨年は過去最高の400点余りあった。入賞・入選作品を展示した作品展を愛知県美術館で開催し、5日間で延べ730人の来場者があり、最後を飾るにふさわしい賑わいを見せた。なお、毎回刊行している「ポスターグランプリ入賞・入選作品集」は、グランプリ、優秀賞、特別賞、協賛会社賞、入選の各作品126点を収録して刊行、関係者に配布させていただいた。

本誌 残念ですがポスターグランプリは今回で中止に一。

酒井 ポスターグランプリを中止する経緯は、紙が良いもの、紙でなくても良いものを取捨選択しなければいけない時機にきたのと、今年作品を見たときに生成AIを使った作品がなかった。もう少し時代の流れを取り入れていく必要がある。どの事業も組合員の会費でやっていることなので、開催する上での費用対効果を考えなくてはいけない。今までプレゼンの時に3つぐらいの案を作っていたが、生成AIを使うと30～40の案が簡単に出来る。数の勝負、時間の勝負で勝てない。コロナ禍からの急激なデジタルの進化によって我々の業界の未来をどう作っていくか、一度立ち止まって、事業の見直しも必要だと思う。

河原 愛印工組の大きな事業として、創立70周年を迎えることで、令和8年の新年互礼会の席を借りて、創立70周年記念式典を開催する。テーマは、「Resilience(レジリエンス)」としている。式典、講演会、懇親会などを予定しているが、具体的な内容は決まり次第報告したい。

本誌 酒井丸が船出し間もなく1年、今後の動きは一。

酒井 我々は請負でずっと商売をしてきたので、能動的に動くと思うとアクションを起こさないといけない。それにはリスクがある。我々経営者がリスクをとって投資をしないと、それに見合ったリターンはない。いろいろチャレンジをしていく上で、全印工連も価値協創を掲げ、これに繋がる各種事業を積極的に取り組んで行くとしている。まだ光が見えてきたわけではないが、これからの産業、地域、日本をどのように盛り上げていくか。印刷業界はいろいろな産業とかわりを持っている業種といわれている。そのあたりを十分活用しながら、生活者の一人としてどのような未来を切り開いていけるのかということに焦点を当て活動をしていきたいと思っている。

本誌 本日はお忙しい中お難うございました。



第1回「ワクワクぷりんと博覧会」

■中部地区印刷協議会<令和6年度下期会議>



中部地区5県の役員が一堂に会した全体会議（メルパーク名古屋）

挨拶をする大洞正和
中部地区協会長

富山・石川・三重・岐阜・愛知の各県工組役員が出席

「才覚と強みを活かして突破口を作り 価値協創の実現に向け尽力」（瀬田会長）



中部地区印刷協議会（大洞正和会長・岐阜県印刷工業組合理事長、中部地区協）の下期会議（愛知県会議）が、2月21日名古屋市東区のホテルメルパーク名古屋で開催され、中部5県（愛知、岐阜、三重、富山、石川）の印刷工業組執行部、役員など52名が出席した。全日本印刷工業組合連合会（全印工連）からは、瀬田章弘会長、酒井良輔副会長、小島武也常務理事、抜井諒一事務局次長らが出席。司会進行は河原善高中部地区協事務局長（愛印工組専務理事）が務めた。

■全体会議

全体会議は、冒頭、箕浦靖夫愛知県工組副理事長が開催県挨拶を名古屋弁で行ない場を和ませた後、大洞中部地区協会長が挨拶に立ち、昨年逝去された水谷勝也三重県工組前理事長の冥福を祈り黙とうを行なった。その後、鳥原久資前全印工連副会長・愛知県工組前理事長の藍綬褒章、楠行博元富山県工組理事長の旭日双光章の受章を報告した。

続いて、大洞会長は次のように述べた。

「先週、大阪府工組が大阪産業創造館で開催した印刷会社とクリエイターのものづくり、『ペーパーサミット2025』の見学に行ってきた。昨年、愛知県工組が行なったワクワクぷりんと博覧会も見学させてもらったが、非常に活況あるイベントであった、との印象が強かった。大阪府工組のイベントもこれに負けず劣らず、アイデア満載のユニークな商品が多く出展されていた。来場者はおおかた一般の方のようであったが、コラボを通じて、印刷や紙の楽しさ、面白さ、さらに新しい可能性を知ってもらえたサミットになっていたと思う。愛知県工組では今年の秋に、第2回ワクワクぷりんと博覧会

を開催されると聞いている。今度も是非見学にいきたい。

話は変わるが、非常に混沌とした世界情勢、また円安も続いて、我々印刷業界にとっても厳しい時代が続いている。このような中、印刷業界が社会に必要とされる産業であり続けるためには、こうして皆さんが集まって意見交換することが大事で、これが全印工連、中部地区協、また各県工組の発展に繋がれば良いと思っている」。

続いて、瀬田会長が挨拶に立ち、江戸の町と火災の因果関係について、エピソードをまじえながら次のように述べた。

「火事と喧嘩は江戸の花といわれるが、江戸っ子は威勢が良くて楽天的である。何故かという江戸は火事が多かった。東京に木場（きば）という所がある。当時は木場に木材を蓄えてあった。商人たちが木材を買い集めて木場に置いており、火事になると商人たちが自腹を切って家を建てた。それは早く町を復興させたいがため、火事の後すぐに家を建てている。当時の江戸は急拡大しており、人手不足であったの



挨拶をする瀬田章弘全印工連会長

で、職は有り余っている。命さえあれば明日からでも仕事はある。食べ物は確保できる。家も大商人が建ててくれるので、『宵越しの金は持たない』ということで、どんどん楽天的な気質が生まれた、と最近の歴史学者はいつている。

商人たちは社会貢献で家を建てているわけではない。町がなくなると自分たちの商売ができない。そのため皆で団結して、町を急速に復興させるために行なっている。これは印刷業界も同じである。市場を作り、稼ぐ場を作らなければいけない。複雑かつ挑戦的な課題が山のようにあるが、その課題を一社一社で解決するのは難しい。組合の仲間同士で連携することで、それぞれが良くなるようなマーケットを作り、チャンスを作っていく。後は、皆さんの才覚と強みを活かしていく。そうした前向きな気持ちで突破口を作り、『価値協創』の実現に向け尽力していきたい』。

全体会議前半では、抜井諒一事務局次長が全印工連事業報告を行ない、続いて、瀬田会長より令和7年度事業構想について説明が行なわれた。

抜井事務局長は、外国人労働者の受け入れが可能な「特定技能1号」に、印刷・製本業が対象業種となり、全印工連や全日本製本工業組合への所属が要件となった。しかし、製本工組がない地域も多いため、製本会社から印刷工組に加入の申し入れがあった場合、定款の範囲内で加入を承認するよう要請がされた。また、官公需においては、不合理な取り引きが依然として多いため、改善を強く促す意味においても、官公需対策の専門委員会がない工組は、早急に委員会を立ち上げるか、官公需担当役員を置くよう求めた。

瀬田会長からの2025年度事業構想については、事業の柱として、●価格の適正化・不合理な取り引きの是正、●外国人・女性・障がい者など、多様な人材の雇用・登用を含めた人材獲得支援、●教育効果やマーケティング効果など、科学的根拠に基づいた紙の価値の探求と啓発、●地域の課題解決と自社の利益追求を両立させたローカルゼブラ企業への変革支援、●AIやDXの実装支援など、重点的に取り組む姿勢が表明された。

続いて、分科会に移った。分科会は、経営革新マーケティング分科会、サステナビリティ・CSR分科会、組織活性化分科会、教育研修分科会、取引公正化分科会、そして、理事長会、事務局会が開かれた(分科会報告は別項参照)。

なお、今回より分科会名が全印工連の委員会名に変更さ

れ、環境・労務分科会はサステナビリティ・CSR分科会、組織共済分科会は組織活性化分科会、教育分科会は教育研修分科会となった。

全体会議後半では、各分科会報告、理事長会報告、事務局会報告、意見交換、大洞会長の下期会議のまとめなどが行なわれた後、須垣貴雄富山県工組理事長の閉会の挨拶で全体会議は終了した。

全体会議終了後、交流会が行なわれ、懇親と情報交換の一時を過ごした。

■分科会

■経営革新マーケティング分科会(寛田公生委員長:富山県工組副理事長)

経営基盤支援事業の中の12回目となる「勝ち残り合宿ゼミ」は、2月28日から3月1日の1泊2日の合宿形式で行なう。今回は、大阪工組が2023年から開催している経営者育成プログラム「印刷経営革新塾」のカリキュラムを一部取り入れ、自社の経営革新計画を作成することになっている。

話題になっているAI活用とローカルゼブラについて情報交換をした。生成AIのセミナーを各県いろいろ行っており、愛知県工組では2月に技術セミナーを開催。石川県工組も今年度末までに2回にわたりセミナーを実施する。また、ローカルゼブラ企業については、石川県工組の組合員企業が、産業として衰退しつつある伝統工芸の技術の素晴らしさを広く伝えようと努力されている。これは、九谷焼の絵付け作家が描いた美しい図柄を、メッセージカード、マスキングテープ、封筒、扇子風呂敷などに印刷し販売するという事業で、既に5年前から展開されているそうである。地元の土産物販売店だけではなく、パリの文具店などにも置いてもらう取り組みも行っている。また、大きな収益にはなっていないそうであるが、今後は商品のバリエーションを増やしながら販路を広げていくということである。

■サステナビリティ・CSR分科会(土井弘人委員長:三重県工組副理事長)

全印工連では、カーボンニュートラル社会を実現するために、電気やガスの使用明細から二酸化炭素排出量を簡単に算定できる「みんなSX for Biz」を使った調査をしており、現在、富山と三重の両工組で4社、石川、岐阜、愛知の各工組で1社



経営革新マーケティング分科会:寛田公生委員長



サステナビリティ・CSR分科会:土井弘人委員長



組織活性化分科会:北川毅委員長



教育研修分科会：中島弘稀副委員長



取引公正化分科会：田中逸郎委員長



事務局会：西川幸洋事務局長

の協力を得ているが、統計精度を高めるためにも更なる協力をお願いしたい。

CSRについては、取得する前の学びは多いが、費用と効果、メリットがはっきりしていないので、なかなか取り組みにまでは至らない。石川県工組では積極的なCSRを行なっている企業を訪問して、広報誌への掲載など広く周知をしている。

MUDコンペディションで、応募を増やすための議論を行なった。その中でデザイン学校などにアプローチするのが大事なのではとの意見があった。ただ学校へのアプローチという方法は、学校の始まる時期もあるので応募時期を早くしたらどうか、評価の規準が分かりにくいのでテーマをもうけてはどうか、などの意見もあった。

■ 組織活性化分科会(北川毅委員長：愛知県工組理事)

生命共済制度について話をした。「ライブピア」はPR動画を有効に使い、また、保険会社とも連携しながら各県工組、各支部で説明をしていく。次年度の共済加入促進キャンペーンの重点工組は、愛知、三重、富山に決定した。

事業承継について、山田ビジネスコンサルティングと業務提携をして進めているが、現状の各県工組の状況を踏まえながら、無料相談などの窓口も用意されているので、気兼ねなく活用するように告知を行なっていく。

組合員の増減に関しては、特定技能制度の件もあるので増える要素がある。また、アドビライセンスプログラムに関しても大きな特典となっており、加入の大きなメリットになる。愛知県工組では、特定技能制度の関係で製本会社が1社加入している。

■ 教育研修分科会(中島弘稀副委員長：岐阜県工組副理事長)

印刷営業士講座、組合支援セミナーなどは、ウェビナーという意見と各県組合員が減少しているので、地区協単位でできないかという意見があった。

プリプレス職種DTP検定は、資料によると68人と非常に人数は減っているが、例えば、徳島と香川の共同開催や中部5県で持ち回り開催など、共同開催の道もある。またアウトサイダーの積極的な受検を促したい。そこから組合加入にも繋がっていく。

我々 DTP検定に携わっている者の感覚としては、特定技能者よりもアドビのソフトが組合に加入すれば安く買えるというところが、1人、2人でやっているデザイナーには響くので

はないかという意見もあった。AI、ファイヤーフライなどのセミナーについては、経営者にもわかるようなレベルを落としたセミナーの要望もあった。

■ 取引公正化分科会(田中逸郎委員長：石川県工組副理事長)

全印工連も薦めているSR調達について、愛知県では昨年3月末に県の会計局が各部局に通知を出し、印刷物などの制作を依頼する際に「GP(グリーンプリンティング)認定」、「全印工連CSR認定」を取得している、もしくは「MUD(メディア・ユニバーサルデザイン)教育検定」の有資格者がいることを受注条件とした場合は、認定取得事業者に優先発注を行なうことになった。また、瀬田会長から東京都ではSR調達に関する専門委員会が発足するとのことで、そこで事例をつくって、各地区、各県に横展開できればとの話があった。

■ 理事長会(山口史高理事長：三重県工組)

BCPについて、富山県工組、石川県工組ではBCP(事業継続計画)の一環として、災害時連携協定の締結を進めている。その前段階として、富山県工組では組合内での災害時の連携を進め14社が代替生産の受け入れを表明している。連携協定を締結するには、被災企業と支援企業の設備が共通している方が円滑に進む。そのためにも、保有設備などの情報開示が必要になるが、誰でも情報を閲覧できては不都合な部分もあるので、簡単に閲覧できないようにする。例えば、非常事態が起きた時は、事務局が管理するもで「理事長だけが見れる、あるいは「委員だけが見れる、などのルールづけを明確にすることが大事である。愛知・岐阜・三重は南海トラフ地震による被害も想定されるので、こうした連携協定の輪を広げていくことは重要になる。

■ 事務局会(西川幸洋事務局長：石川県工組)

岐阜県工組からは組合員を対象とした国家表彰制度についての準備について質問があり、各県工組の対応を意見交換した。三重県工組からは全国大会の時の参加費用など、各県工組の会計の状況を意見交換。各県工組では旅費規程を設けている。その中で高額な旅費が予想される場合はそれをどのようにしていくか、などが議論された。BCPについて、富山県工組ではホームページを利用してBCPの共有窓口を作りたいとの意見があった。また、電子帳簿などの保存の方法やホームページの運用について意見交換をした。愛知県工組から、事務局の業務をマニュアル化できないか、との提案があり、愛知県工組の事例をベースに進めていくことになった。

PICKUP NEWS

中小企業庁

「中小企業省力化投資補助金」

使い易くなった「カタログ注文型」、新たに新設された「一般型」

中小企業庁では24年度から企業の売り上げ拡大や生産性向上を後押しするため、「中小企業省力化投資補助金」の公募を行ってきた。この補助金は、人手不足解消に効果のあるロボットやIoTなどの製品や設備・システムなどを導入するための経費を国が補助し、中小企業の省力化投資を促進し売り上げ拡大や生産・業務プロセスの効率化を図るとともに、賃上げに繋げることを目的とした補助金になる

汎用製品をカタログから選択し注文する「カタログ注文型」方式では、2月17日現在、対象となる全製品68のカテゴリのうち、13が日本印刷産業機械工業会の登録審査を経た印刷関連製品となっている。今回、より申請がしやすくなったほか、製造事業者からの導入に限られていたものが、販売事業者からもできるようになり、販売事業者との共同で申請ができる。公募は随時受け付けている。

また新たに、個別の現場の設備や事業内容に合わせた設備投資を促進する「一般型」の公募が開始され、オーダーメイド・セミオーダーメイドへの対応が可能になった。こちらは公募回制になるので、公募に合わせての申請になる。

※ちなみに、第1回の公募は3月31日が締め切りで、6月中旬に採択発表がされる。公募は年3～4回予定され、スケジュールは随時公表されることになっている。

詳細は [中小企業省力化投資補助金](#) で検索

グリーン購入法

「印刷役務」の判断基準を改正

4月1日から施行

令和7年度グリーン購入法に基づく環境物品調達改正が4月1日に施行される。今回の改正では、官公庁・自治体などへ印刷物を納品する事業者の「基準値1」の資格要件に、日本印刷産業連合会（日印産連）の「グリーンプリンティング認定制度」、または、全日本印刷工業組合連合会（全印工連）の「環境推進工場認定制度」による認定を取得している事業者



meikami
メイカミ
〒461-0018名古屋市中区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418

（工場など）であることが追加された。

グリーンプリンティング認定制度（GP工場認定制度）は、日印産連「各印刷サービス」グリーン基準に基づき、客観的な審査によって環境配慮された印刷工場を認定する制度。また、環境推進工場認定制度は、環境負荷低減への取り組みを一定水準以上達成した中小印刷事業者を認定・登録する制度。

全国出版協会

「2024年出版市場」

1兆5716億円（紙5.2%減、電子5.8%増）

出版業界の調査研究機関である公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所（近藤敏貴理事長）は、2024年（1～12月期累計）の出版市場規模を『季刊 出版指標』2025年冬号で発表した。

■紙（書籍・雑誌）市場かろうじて1兆円を上回る

2024年の紙の出版物（書籍・雑誌）の推定販売金額は前年比5.2%減の1兆56億円。かろうじて1兆円を上回った。内訳は、書籍が同4.2%減の5937億円、雑誌が同6.8%減の4119億円。書店の閉店が続き、書籍・雑誌ともに依然として厳しい数字となったが、店頭売り上げは書籍が前年を上回るなど、既存店では回復傾向が見られる。

書籍は、文芸・学参・ビジネス書などが好調であった。雑誌は月刊誌（ムック、コミックスを含む）が同6.3%減の3494億円、週刊誌が同9.3%減の625億円。月刊誌の内訳は定期誌が約5%減、ムックが約2%減、コミックス（単行本）が約10%減。「MORE」「Mart」「steady」「ポポロ」などが休刊。コミックスはアニメ化によるヒットもあったが、前年、前々年の規模には遠く及ばず、既刊も伸び悩み3年連続の大幅減となった。

■電子出版市場5660億円、全ジャンルでプラスに

2024年の電子出版市場は同5.8%増の5660億円。内訳は、電子コミックが同6.0%増の5122億円、電子書籍が同2.7%増の452億円、電子雑誌が同6.2%増の86億円。

電子コミック単体で5000億円を突破、コロナ禍前の2019年から5年間で倍増した。各ストアは、出版社との協業による独占・先行配信やオリジナル作品の強化、割引・ポイントバックなど様々な施策を積極的に展開。電子書籍はライトノベルや写真集が牽引し3年ぶりのプラス。電子雑誌は「dマガジン」「楽天マガジン」の値上げにより、こちらもプラスに転じた。



創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。.....

デザイン～印刷まで
トータルサポート

お気軽にお問合せ下さい。

..... カラー印刷全般

株式会社 プロスペック
〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL(052)482-3117 (代表)
FAX(052)482-3118

info@ps-prospec.co.jp https://www.ps-prospec.co.jp/

2025年 紙・板紙(主要品種)内需見通し

日本製紙連合会から「2025年 紙・板紙内需見通し報告」が公表された。報告によると、2025年主要品種別内需見通しについて、グラフィック用紙は、デジタル化や需要家のコスト削減に伴う使用量の減少により引き続きマイナスを予想。パッケージング用紙は、インバウンドの増加や工業製品関連需要の回復などが寄与するものの、物価高騰、消費者の買い控え、包装資材の削減などにより微減を予想。衛生用紙はインバウンドの増加によりプラスを予想している。パッケージング用紙、衛生用紙を紹介。グラフィック用紙は先月号に詳報。

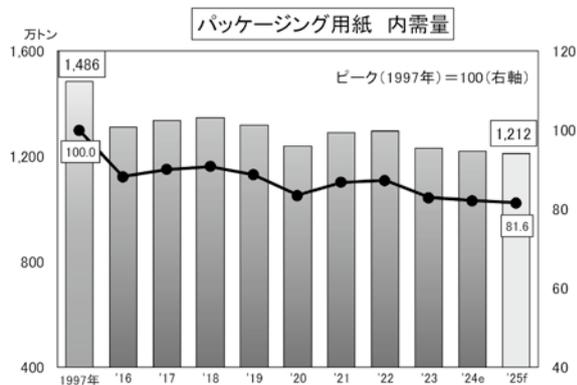
■パッケージング用紙

《近年の動向》

★パッケージング用紙の内需は、コロナ禍の2020年に5.8%減少し、その後は穏やかな回復に転じたが、2023年以降はコロナ禍の水準を下回って推移。2024年は、白板紙がプラスになったものの、諸物価高騰による消費マインドの低下継続などで、包装用紙、段ボール原紙は前年を下回り、パッケージング用紙計では0.7%減と2年連続でマイナスとなった。

《2025年の予想》

☆パッケージング用紙のうち、段ボール原紙は包装形態の変更や軽量化などが懸念されるが、加工食品向けや電気・機械器具向けの増加などで、ほぼ前年並みを予想。包装用紙は省包装・簡易包装化によりマイナス。白板紙も、諸物価高騰に



よる消費者の買い控えの継続や包装資材の削減などによりマイナスを予想する。いずれの品種もインバウンドの増加はプラスに寄与するが、全体としては微減を予想。

☆品種別の見通しは、パッケージング用紙は合計で1,212万トン、前年比0.7%減となる。包装用紙が1.7%減、パッケージング用紙は3年連続のマイナスとなる見通し。2019年比では8.0%減、過去のピークだった1997年(1,486トン)に対しては8割強の水準となる。

■衛生用紙

《近年の動向》

★衛生用紙の内需は、人口の減少などの構造的要因はあるものの、生活必需品として需要は底堅く、堅調に推移している。2024年は、物価高による消費者のコスト意識の高まりや製品のコンパクト化(ソフトパックティッシュへのシフト、トイレットロールの長尺化、ロール幅の縮小など)が進んだ一方で、インバウンドの増加、また、南海トラフ地震臨時情報の発令などに伴う消費者の備蓄意識の高まりなどを背景に、内需は2.9%増と、2022年に記録した過去最高を更新した。

《2025年の予測》

☆物流問題を背景とした輸送効率の改善に加え、利便性の向上、環境負荷の軽減などを目的とした形状をコンパクト化した製品へのシフトは継続する一方で、大阪・関西万博の開催などを背景としたインバウンドの増加、人流の増加により、宿泊施設などの業務用向けを中心に、需要は引き続き堅調に推移すると予想。品目別には、ティッシュペーパーは花粉などの季節需要はあるものの横ばい。トイレットペーパーは業務用向けを中心に、タオル用紙はキッチン用途を中心にプラスとなる予想。

☆衛生用紙の内需は213万トン、前年比0.8%増を見込んだ。2年連続の過去最高更新となる見通し。2019年比では3.8%増。

※「2025年紙・板紙内需見通し報告」は、日本製紙連合会のHPから検索できる。<https://www.jpca.gr.jp>

【参考】日本製紙連合会では、毎月「紙・板紙需給速報」をHP上で公開、印刷・情報用紙の国内出荷高を報じている。

高精細印刷とPUR製本の最強タッグ

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷

検索

盛功社の創業は1889年。2023年に135周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



●印刷機械 ●製本機械 ●製本機械
●DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 **盛功社**

〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
<http://seikosha-net.jp/>

■愛印工組・2月期理事会

創立70周年のテーマ 「Resilience」

サブテーマ ～共に歩み 未来を拓く～

愛知県印刷工業組合（酒井良輔理事長、愛印工組）の令和6年度2月期理事会（第5回）が2月17日メディアージュ愛知3階会議室で開催された。当日は、令和6年度決算見込み、各事業委員会活動報告、各支部活動報告が行なわれた（出席者20名）。

冒頭、挨拶に立った酒井理事長は、各支部や関連業界団体の新年会に参加して、「愛知県印刷工業組合は非常に大きな団体であることを改めて感じた。そして様々な事業を展開していることも再確認した」と述べた。その上で「昨年の地区印刷協議会で全印工連から『価格競争から価値協創』ということが打ち出されたが、`打ち出の小槌、のような事業があるわけではない。2月に開催される地区印刷協議会に全印工連の瀬田章弘会長が出席され、具体的な行動指針を説明されるので、それをしっかりと聞き、今後の事業に役立てていきたい」と付け加えた。さらに言葉をつけ、「様々なことがAIに置き換わっていく。それを我々が如何に活用して行くかが問われている。反面、紙の有用性を我々は考えていくべきである。愛印工組は来年70周年を迎える。70周年のテーマを『resilience（レジリエンス）』とした。日本語に訳すと`回復する、とか`復元力、になる。我々経営者はこの変化をチャンスと捉え、事業の再構築であったり、新規事業の開拓であったり、従来型の印刷業以外のところで、しっかりと事業を構築していかなくてはならない。『resilience』のテーマと『共に歩み、未来を拓く』を副題に掲げたので、この旗印のもと1年間進めていく」とした。

理事会は、酒井理事長を議長に進められ、最初に河原善高専務理事から加入・脱退について報告があり、㈱マルミヤの令和7年4月1日の加入を承認。また、ウシダ印刷㈱、西川コミュニケーションズ㈱の令和7年3月31日付けの脱退が報告された。

その後、令和6年度決算見込みの概要が説明され、続いて、各委員会事業の実施、計画報告が行なわれた（今後の計画の



2月期理事会のもよう

み記載）。

【三役直轄事業（ゴルフコンペ）】箕浦靖夫副理事長
第9回愛知県印刷工業組合親睦ゴルフコンペは、9月10日、セントクリークゴルフクラブで開催。

【組織・共済委員会】北川毅委員長
全印工連共済制度加入促進活動、「プリントリバースα」「サポートワン」の加入促進活動及び説明時間の設営を依頼。

【労務・新人教育委員会】山本芳弘委員長
令和7年度「印刷会社の新入社員研修」4月2日の新入社員基礎研修でスタートし2か月間にわたる研修が始まる。

【CSR・ブランディング委員会】鈴木裕一委員長
ワクワクぷりんと博覧会のキックオフを2月18日ナディアパークで開催。「第2回ワクワクぷりんと博覧会」は、10月18日～19日の両日、千種区星が丘テラス屋外マルシェ会場で開催する。

【教育委員会】松本高武委員長
技能検定印刷職種オフセット印刷作業実技試験は、6月下旬㈱フジカで実施。

【経営革新委員会】富田章裕委員長
企業見学会を3月24日、MIZKAN MUSEUM、國盛酒の文化館、半田運河・蔵のまちエリアの見学。

次いで、各支部活動報告が行なわれた（支部と報告者は以下の通り）。

東北支部：太田善久支部長、中村支部：清水幹友支部長、中支部：常川知泰支部長、名南支部：野々村昌彦支部長、東南支部：田中賢二副理事長、知多支部：久野彰彦支部長、尾張支部：高橋伸幸支部長、西三河支部：岡田邦義理事、東三河支部：鈴木祐司支部長。

「みんなSX for Biz」を利用したCO₂排出量の算定

全印工連では、カーボンニュートラル社会の実現に貢献するため、㈱UPDATERが提供する「みんなSX for Biz」を利用してCO₂排出量の算定並びに把握を行ない、次年度のカーボンニュートラル施策を検討することとなった。

「みんなSX for Biz」は、電力・ガス・ガソリンなどの請求書や領収書に表示されている使用量を、Webサイトの「CO₂排出量管理表」に入力し、直近1年分（2024年1

月～12月）の排出量の合計をするだけで、簡単にCO₂排出量を算定することができる。また、Scope 1（企業が使用するガス、ガソリンなどの燃料や焼却を発生源とする直接排出量）と、Scope 2（電力などのエネルギー調達に伴う間接排出量）の排出源別の排出量の把握もできる。

全印工連では、組合員企業の「みんなSX for Biz」の利用者登録ならびに活用の周知への協力を要請している。

※詳しくは、https://sx.updater.co.jp/ajpia_co2/



第15回「ポスターグランプリ入賞・入選作品集」



第15回グランプリを受賞した山元瞳子さんの作品

愛知県印刷工業組合

第15回ポスターグランプリ「入賞・入選作品集」刊行 グランプリ、優秀賞、特別賞、協賛会社賞、入選の各作品126点収録

愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県の各印刷工業組合と愛知県印刷協同組合が主催し、「いいかげん」をテーマに開催された第15回ポスターグランプリ。その優秀作品を掲載した「ポスターグランプリ入賞・入選作品集」(A4判20ページ)が刊行された。作品集には、最優秀グランプリ1点、優秀賞(一般の部2点、大学・専門学校生の部2点、高校生の部2点)6点、特別賞13点、協賛会社賞34点、入選72点、計126点が収録されている。

今回で15回目を迎えたポスターグランプリは、「いいかげん」をテーマに作品募集が行なわれ、将来のグラフィックデザイン業界を担う学生、生徒及び一般のデザイナーなどから370点の作品が寄せられた。厳正な審査の結果、最優秀グランプリには山元瞳子さん(専門学校デザイナー芸術学院)の作品が選ばれた。

「第15回ポスターグランプリ入賞・入選作品集」刊行の言葉で、酒井良輔ポスターグランプリ審査委員長(愛知県印刷工業組合理事長)は、「いい加減、いいかげん、といったような様々なアイデアが表現され、十人十色、百人百様、今回もいずれの作品も力作ばかり。審査会場も白熱し、審査委員がそれぞれの意見を交わしながら選考し、グランプリ(最優秀賞)に山元瞳子さんの作品が、ご自身の考える「いいかげん」を表現され、最高のインパクトとビジュアル、キャッチコピーのすべての部門で最高の票を集め見事に受賞された」と、賞賛の言葉を贈っている。

このポスターグランプリについては、巻頭の言葉でも述べられているように、今回の15回で打ち切られることになった。その理由について、「ポスターグランプリコンペティションも回を重ねるごとに応募者数が増え、このコンペティションを通じて、若手デザイナーのスキル向上、育成を図り、ひいては印刷産業とデザイン関係業界の連携に寄与するという所期の目的を達成してきた」とした上で、「開催経費の負担増加や協賛会社の募集減も手伝って、今回の15回をもって、本事業を終了する」と表明している。

今後への対応については、「印刷業界とデザイン業界との更なる連携と発展を目指し、クリエイターとのコラボ事業に注力していく」と述べている。

※第1回から15回までの入賞・入選作品が愛知県印刷工業組合のホームページに公開されており閲覧ができる。

<https://www.ai-in-ko.or.jp/>

お知らせ

■ MUD 協会

MUD ディレクター検定

MUD 協会では、MUD ディレクター検定を開催する。この検定は、メディア・ユニバーサルに配慮したデザインや制作、ディレクション指示ができる人の育成を目指しているが、MUD の知識習得を目的にした人も歓迎している。講義では、色の具体的選択手法、デザイン手法について専門の講師が指導を行なう。座学のほかワークショップも行ない、参加者の理解度に応じたより細かい指導を行なう。

●名称：MUD ディレクター検定

●日時：5月23日(金)・24日(土)、9時30分～17時30分

●会場：日本印刷会館(東京都中央区新富1-16-8)

●定員：12名(最低催行人員10名)

●受験料：60,500円(税込み、教材費、検定費用など含む) ※検定ができない場合は受験料を返金。入金確認後、事前に教科書を送付。

●参加者：MUD アドバイザー有資格者

●詳細と申し込みは下記HPから

<https://www.media-ud.org/assay/>

■新規加入

事業所名：(株)マルミヤ、代表者：宮田義廣社長、所在地〒462-0032 名古屋市区辻町4-17 TEL052-915-0038、主な事業内容：箔押し

編集だより

■春の気配が感じられるまでになりました。今年も新入社員研修会が始まります。愛印工組の研修会はどの講座からでも受講ができます。是非、挑戦してみてください。

あいの印刷

No.641

令和7年4月10日発行

発行人
編集
発行所
〒461-0001

酒井良輔
組織・共済委員会
愛知県印刷工業組合
名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <https://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

グラフィックデザイン	Graphic design
ウェブデザイン	Web design
セールスプロモーションデザイン	Sales promotion design
エディトリアルデザイン	Editorial design
アドバタイジングデザイン	Advertising design
オンデマンドプリンティング	On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070 FAX 052-528-1071 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz https://www.ad-wise.biz/



Morisawa Fonts

文字とつながる。世界がひろがる。



フォントの
サブスクリプションサービス



モリサワ

morisawafonts.com

Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511
紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507
皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518
地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 AXUAS

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 [https://www.axuas.jp](http://www.axuas.jp)

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



封筒フィーダ搭載で連続印刷可能！ imagePRESS 封筒搬送ユニット

■封筒を補充する際のロスタイムがなくプリンターの性能を最大限に引き出します！

■軽オフの更新時にご検討ください。



KING キングコーポレーション

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号
TEL:052-961-7661 FAX:052-961-7662

キング封筒



SLIM&STRONG その先へ



KOBUNDO

全自動カード製造機

KBD AUTO CardMaker

全自動カード機は、カードやトランプカードの製造に特化した高効率の設備！



- カード紙やトランプ用紙を縦方向および横方向に自動分割します。
- カードサイズに応じて切断サイズを調整可能で、さまざまなサイズのカードやトランプに対応します。
- 切断後のカードを設定されたデザイン順序に従って自動的に積み重ねます。印刷前後の順序を正確に保ち、ずれを防ぎます。
- カードのボンス抜き、縁取りに適合。
- 給紙からボンス抜き迄、全プロセスが自動化されており、作業効率を大幅に向上させ、人件費を削減します。

NEW

昇華型熱転写機

KBD テキスタイル

1200S/1600/1600S

アパレル向けから、タオル・のぼり・旗等のノベルティまで、幅広く高品質な仕上がりを実現！！



- 連続色安定性
- やさしい操作性

- 【特長】
- 非接触センサーにより転写紙接触面を直接温度管理
 - アンダーペーパー、生地、転写紙、各軸を微調整、加工不良を削減します
 - トルク調節付巻き取り装置

ポリエステル素材へのグラフィック転写なら、KBDテキスタイルにお任せ！

クラウド型入稿・進捗管理システム

KBD ミエル ミエル

入稿業務と進捗を見える化し、クリエイティブ管理を効率化します。タスク管理ツールは世の中に多数発売されていますが、印刷データ制作に特化した管理ツールはなかなかありません。KBD ミエル ミエルは現場とお客様のやり取りを見える化し、進捗状況の共有を可能にするクラウド型入稿・進捗管理システムです。KBD ミエル ミエルはクリエイティブワークで使いやすく、見てすぐわかるツールとなっています。



NEW

スマホに表示されたPDF上のQRコードがタップできる

NEW

KBD リンクリンク II



ありそうでなかった新機能！
印刷物のQRコードは、スマホで読み取るのに、スマホで表示したQRコードのリンク先には飛べない！
はい、それではタップできるようにしました！



印刷機材の総合商社
株式会社 光文堂

本店 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・金沢・大阪・北九州・福岡 営業所 / 北海道
青森・山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・徳島・山口・大分・熊本・沖縄

<http://www.kobundo.co.jp>